

Diabetic Retinopathy

Cerebral Infarction

Myocardial Infarction

Diabetic Renal Disease

Diabetic Neuropathy

Diabetic Gangrene

第6回企画展

糖尿病 の真実

2014年
3月13日 木 ▶ 8月10日 日
10:00~17:00

最終入館
16:45

休館日 毎週月曜日 (ただし、月曜が祝日の場合は開館)

常設展

近代から現代への医学の歩み

—医学部と附属病院の150年

東京大学医学部・医学部附属病院 **健康と医学の博物館**

入場
無料

住所

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学本郷キャンパス内 医学部総合中央館 (医学図書館) 地下1階

問合せ先

「健康と医学の博物館」事務室
03-5841-0813

Eメール

mhm@m.u-tokyo.ac.jp

<http://mhm.m.u-tokyo.ac.jp/>



健康と医学の博物館

Museum of Health and Medicine



「糖尿病」とは、血糖値（血中のブドウ糖の濃度）が正常よりも高い状態になる病気で、血糖値を下げる働きをするインスリンというホルモンが少なかったり、何らかの原因でインスリンの作用が不十分になったりするためにおこります。国内には1000万人以上の糖尿病患者がおり、年間8万人近くが糖尿病に関連した原因で亡くなっています。

当初は無症状ですが、症状が進むと、強いのどの渇き、大量の尿の排泄、痩せ、細い血管や太い血管の合併症、さらには意識障害、昏睡に至るまで、様々な症状がでてきます。このような状況に陥る前に、予防・治療を行う必要があります。糖尿病は生活習慣病の代表格です。

今回の企画展では「糖尿病」を取り上げ、その原因や合併症をできるだけわかりやすく解説すると共に、診断や治療への取り組み、東京大学で行われている最新の研究を紹介します。

Zone 1

糖尿病とは？

Zone 2

合併症との戦い

Zone 3

糖尿病の医療

Zone 4

研究最前線

常設展 近代から現代への医学の歩み — 医学部と附属病院の150年

150余年にわたる医学部・医学部附属病院の業績・歴史の中で、特筆されるものを中心に紹介します。初期の時代にドイツ人教師によってもたらされた医学書、医療器具を展示し、人工癌などの世界的な業績を紹介します。

東京大学医学部総合中央館（医学図書館）B1F

健康と医学の博物館



医学部総合中央館（医学図書館）B1F
健康と医学の博物館

博物館入口は、バス通り沿いです。
医学図書館の入口とは異なります。

本郷三丁目駅（地下鉄丸の内線）…………… 徒歩 8 分
本郷三丁目駅（地下鉄大江戸線）…………… 徒歩 6 分

湯島駅又は根津駅（地下鉄千代田線）…… 徒歩 8 分
東大前駅（地下鉄南北線）…………… 徒歩 10 分